

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで新しい年を元気に迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は4月に熊本地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。今なお多くの家屋が倒壊したままであり、一日も早い復興を心から願うものでございます。また、台風による甚大な被害が全国各地で発生するなど、災害に対する迅速な対応、自主防災意識の重要性をあらためて実感した1年でもございました。本市としても今後も地域防災力の強化に取り組んでまいりたいと考えております。

明るい話題といたしましては、昨年10月に開催されました「第8回ぎふ清流郡市対抗駅伝競走大会」において、見事土岐市チームが初優勝を果たしました。栄光のゴールを目指し、一度もトップを譲ることなく独走でゴールテープを切った選手の皆さんの活躍に胸がすく思いでした。本市としましては、その活躍にちなみ、幸せを実感できるまちを目指して引き続き前へ進んでいきたいと思っております。

各分野の施策としまして、学校教育におきましては、中学校の全学年で35人学級を実施するため、昨年より新たにサポートティーチャーを配置しました。これにより、多様化する生徒の状況に応じた

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、市議会に対しご理解とご支援を賜り、市議会を代表して心より厚くお礼申し上げます。

さて、地方が抱える大きな問題は、人口減少、少子高齢化問題はもちろんのこと、雇用、医療、教育問題などが挙げられますが、それぞれの問題は個別ではなく、どれもが連鎖しています。

こうした中、土岐市の将来のまちの姿を市民と行政、そして市議会が情報を共有し、全ての人が幸せを実感できるまちづくりを実現させるため、第6次土岐市総合計画がスタートしました。

市議会としましては、市政のさらなる発展と市民生活の一層の向上を図りながら、本市の活性化を期待し、市民の皆さまの負託に応えられるよう積極的に活動してまいります。

また、昨年の夏には、議会基本条例制定後3回目となる議会報告会を市内6カ所において「新庁舎建設について」・「総合病院について」の2つのテーマで開催いたしました。

きめ細やかな指導・支援を行うことができ、安定した中学校生活と学力の向上につながるものと期待しております。

企業誘致におきましては、昨年新たに2社と立地協定を結びました。土岐アクアシルヴァ内の全区画への企業の進出が決まり、今後完全稼働することで地域活性化にさらなる弾みがつくものと期待を寄せています。

従来より進めております、庁舎建設につきましては、平成31年度中の完成を目指して、平成29年度より工事に着手する予定でございます。災害発生時に防災拠点となり得る庁舎であると同時に、誰にでも使いやすい庁舎を建設してまいります。

また、大型商業施設開発事業やそれに伴う道路整備事業も、平成31年度の完成に向けて、工事に着手する段階となっております。

本年は、土岐市がさらなる発展を遂げるための大事な年であり、今まで以上に重要施策に全力で取り組んでまいりたいと考えております。

市民の皆さまには、今後とも市政運営へのご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、ご健勝とご多幸を心からお祈りし、年頭のごあいさついたします。

新庁舎建設につきましては、平成29年度中の工事着手、平成31年度の完成を目指しており、建設事業が適切に行われていくかを検証しながら、市民の皆さまに愛される機能的な庁舎が建設されることを強く願うものでございます。

総合病院につきましては、今後の方向性が協議されていく中、行政と連携を取りながら経営に関する調査・研究などを行い、市民の皆さまにとって必要とされる医療を継続的、安定的に提供できるよう取り組んでまいります。

今後、市民の皆さまの貴重なご意見をお考えをお聞かせいただき、対話を大切にしながら、より身近な議会、開かれた議会を念頭に議会報告会を開催いたしますので、ぜひ、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

結びに、本年も市議会に対しまして、さらなるご理解とご支援を賜りますとともに、皆さまにとりまして希望に満ちた輝かしい年であることを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

謹賀新年



土岐市議会議長 西尾隆久



土岐市長 加藤靖也